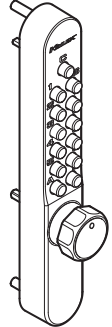
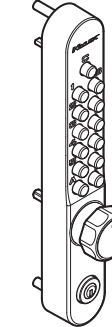
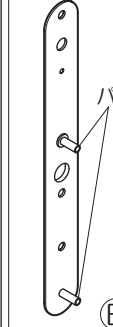
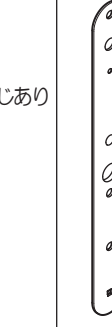



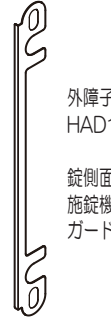
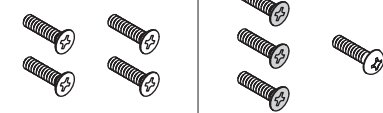

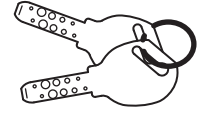


引違い戸自動施錠 両面ボタン 取付説明書

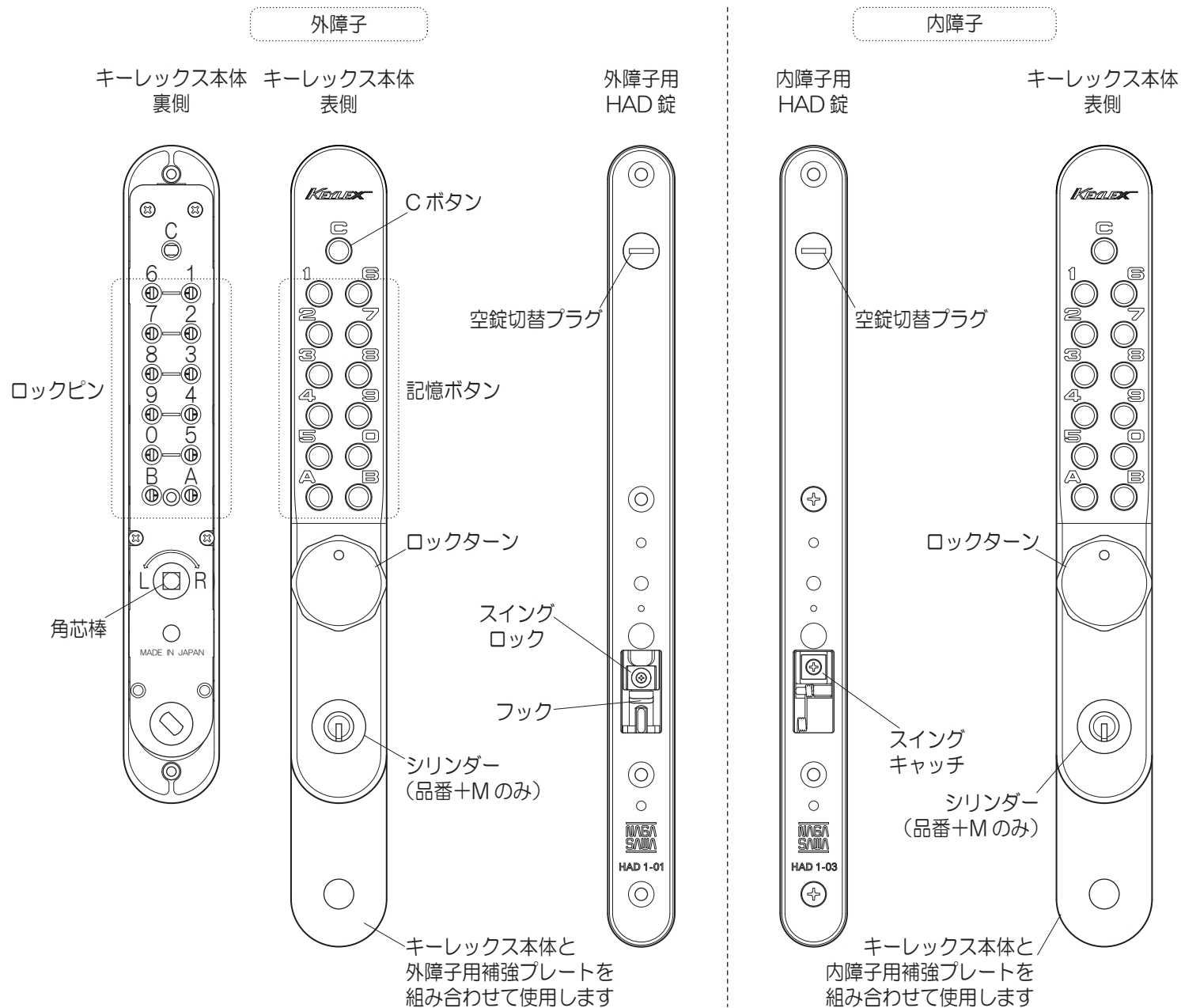


このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

 A K897T 本体 2	 A K897TM 本体 2	 B 外障子用補強プレート 1	 C 内障子用補強プレート 1	 D 樹脂ベース 厚さ 2.0 mm 2 厚さ 3.5 mm 2	 E HAD 錠 set 1	 F 樹脂スペーサー 厚さ 1.0 mm 2 厚さ 2.0 mm 2	 G ガードプレート 1	<p>扉厚に応じて、使用するねじの長さが変わります。ねじ袋に対応扉厚が記載されています。</p>  <p>① 取付ねじ 皿小ねじ (ねじ頭赤) 3 トラス小ねじ 1</p>	 L 取扱説明書 set 1	 M キー (K897TM の L に同梱) 2
--	---	--	--	--	---	--	---	---	---	--

1 各部の名前：キーレックス本体 2 台は同じ仕様です。外障子用・内障子用の区別はありません。

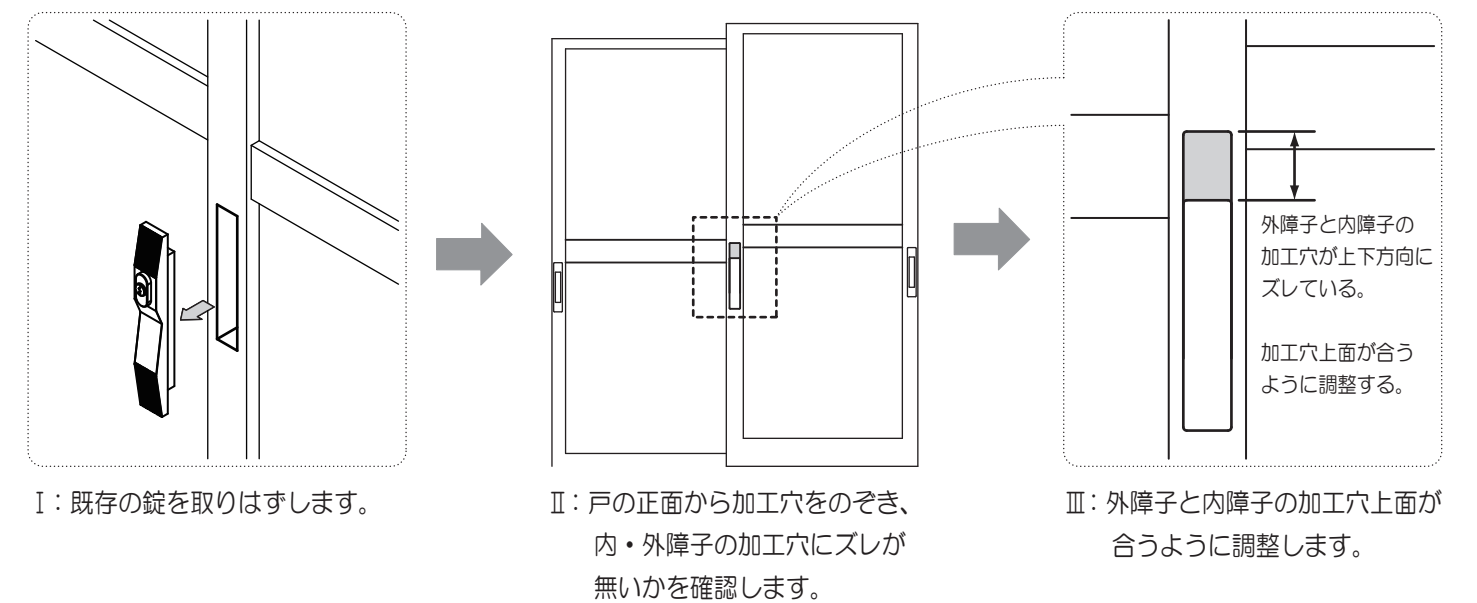


2 取付前環境の確認

- 【取付環境の確認をします】
- 1: 【アルミサッシ】への取り付けをお勧めします。
【鉄扉】【吊り戸】には取り付けできません。
 - 2: 別紙切欠図を参照し、見付け・戸厚・チリ寸法等、取付加工ができるかを確認します。

3 取付穴加工：新規と取替対応時の調整

- 【新規取付】 A キーレックス本体・E HAD 錠 set の取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）。
- 【取替対応時の調整】 既存の錠を取りはずし、外障子と内障子の加工穴の上面が合うように調整します。
 ※加工穴の上面が HAD 錠の取り付け基準位置です。作動不具合を防ぐ為に、必ず確認・調整をしてください。
- 調整後、加工穴上面を基準として、取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）。



4 HAD 錠（外障子用）と補強プレート、HAD 錠（内障子用）と室内座の取付

【外障子】
 I: ①樹脂スペーサーでチリ寸法が6mm以下になるように調整します（下表参照）。
 II: ②外障子用補強プレート、③ガードプレート、④HAD錠をあわせて、戸の角穴上辺に付けるように押し上げながら、①取付ねじ（ねじ頭赤）2本で固定します。

【内障子】
 III: ①樹脂スペーサーでチリ寸法が9mm以下になるように調整します（下表参照）。
 IV: ②内障子用補強プレートと③HAD錠を戸の角穴上辺に付けるように押し上げながら①取付ねじ（ねじ頭赤）1本とトリッス小ねじ1本で固定します。

①樹脂スペーサーでチリ幅の調整をします。取付環境によって施錠しにくい場合は、①樹脂スペーサーを増やします。

スペーサー取付側	チリ寸法	5mm~6mm	6mm~7mm	7mm~8mm	8mm~9mm	9mm~10mm	10mm~11mm	11mm~12mm
外障子側	スペーサー不要	1mm厚	2mm厚	1mm厚+2mm厚	1mm厚+2mm厚	1mm厚+2mm厚	1mm厚+2mm厚	1mm厚+2mm厚
内障子側	スペーサー不要	スペーサー不要	スペーサー不要	スペーサー不要	1mm厚	2mm厚	1mm厚+2mm厚	1mm厚+2mm厚

5 7 キーレックス本体の取付: ⑤外障子側のキーレックス本体を取り付け、⑥キーレックス本体と錠の位置決めをおこなった後、⑦内障子側のキーレックス本体を取り付けます

外障子・内障子 共に

【外障子・内障子 共に：キーを抜いた状態で取り付けます】
 I: ①キーレックス本体を、角芯棒のポンチ穴に注意してセットし、②取付ねじ2本で固定します。
 ※ ③樹脂ベースは、扉厚22mm~27mmの時に2枚重ねて使用します。
 ※ 記憶番号を変更するときは、②取付ねじ2本を取りはずし、①キーレックス本体裏からおこないます。
 ①取付ねじ（ねじ頭赤）ははずさずにおこなえます。
 ※ ①キーレックス本体をセット時の角芯棒の向きでロックターンの解錠方向の向きが決まります。
 右回転：角芯棒の天面をポンチ穴ありにして取り付ける
 左回転：角芯棒の天面をポンチ穴なしにして取り付ける

角芯棒の天面の位置
 右回転：ポンチ穴あり
 ロックターン：シールの向き
 左回転：ポンチ穴なし
 ロックターン：シールの向き

扉厚22mm~27mm時に2枚重ねて使用する
 図は外障子取付図

6 キーレックス本体と錠の位置決め：内障子側に入り、外障子、内障子とも完全に閉めて調整します

7275214

⑤ キーレックス本体の取付で、外障子側の ④ キーレックス本体を取り付け後、位置決めをおこないます。

① 内障子側の ③ 内障子用補強プレートに取り付けてある、① 取付ねじ2本をゆるめます。
② ④ 芯出しピンを ③ 内障子用補強プレートの差込穴に差し込みます。
 ※ 外障子側の ④ キーレックス本体まで貫通させると錠の位置決めができます。
③ ① 取付ねじ2本を固定し、④ 芯出しピンを引き抜きます。

⑦ キーレックス本体の取付を参照し、内障子側の ④ キーレックス本体を取り付けます。

8 キーレックスの作動確認

外障子・室外側 / 内障子・室内側 共に

施錠： 戸を閉めると自動で施錠されます。
 【空錠切替プラグ：ヨコ向き時】

解錠： ① C ボタンを押し、
 ② 正しい記憶番号を押します。
 ③ ロックターン操作で解錠できます。
 ロックターンから手を放して戸を開けます。
 （再施錠するまで解錠状態）
 入退室後は必ず戸を閉めてください。

鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作で解錠できます。
 解錠：① シリンダーにキーを入れて回すと解錠します。キーを抜いて戸を開けます。入退室後は必ず戸を閉めてください。

イラストはロックターン右回転仕様です。

9 空錠切替機能について

空錠切替プラグで、記憶番号の操作が不要になる状態【空錠】（空錠切替プラグ：タテ向き）にすることができます（下図参照）。
 【空錠】から【自動施錠】へは、ロックターンの解錠する方向に回したまま、HAD錠の空錠切替プラグを下図と反対に回します。

【キーレックス本体側】
 ① C ボタンを押し
 ② 正しい記憶番号を押します。

【キーレックス本体側】
 ③ ロックターンの解錠する方向に回したまま

【HAD錠側】
 ④ 外障子側 HAD錠の空錠切替プラグを図のようにタテ向きになるようにコイン等で回します。
 ※内・外障子のキーレックスはそれぞれ切り替えることができます。

イラストはロックターン右回転仕様です。